

北海道八雲高等学校創立百周年記念事業協賛に関する

趣意書ならびにご支援のお願い

謹啓 処暑の候 八雲高等学校同窓生の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルス禍の中、不自由な生活を強いられておりますが、一日も早く平穏な生活に戻れることを願っております。

さて、母校北海道八雲高等学校は、令和五年に創立百周年を迎えます。大正十二年に徳川義親侯を始め、先覚者有志の教育に対する情熱と支援によって、道南郡部唯一の高等教育の場として北海道庁立八雲中学校が設立され、広く地域の期待に応えてまいりました。開校以来、卒業生は一万七千七百名を超え国内外の各方面で活躍し社会に大きく貢献しておりますことは同慶の至りであります。母校は昭和二十三年北海道八雲高等学校と改称、昭和二十四年八雲女子高等学校と統合、昭和二十三年定時制課程設置、昭和二十五年商業科、昭和二十六年に農業科を開設しましたが、昭和四十一年農業科が、平成五年には定時制課程もその歴史を閉じました。商業科は平成十三年度に募集停止となり、変わって総合ビジネス科の誕生を見ています。少子化の影響もあり現在は、普通科ニクラス、総合ビジネス科一クラスで運営され道南北部の中心校と位置付けられております。来る創立百周年は大きな節目でもあり、尾張徳川家現当主・徳川義崇様を名誉顧問にご就任していただき、左記のように記念事業を予定しております。母校、八雲高等学校の創立百周年記念事業への応援をお願いしたく、募金のご案内を差し上げた次第です。

つきましては、母校八雲高等学校の更なる発展のために、同窓の皆様お一人お一人のご協力で創立百周年記念事業を将来に繋げるものとさせていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
本会の趣旨をご理解いただき、ご援助を賜りますようお願い申し上げます。
時節柄、同窓生皆様の益々のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。

謹白

令和四年八月

〒〇四九―三一一

北海道二海郡八雲町住初町八八番地

TEL 〇一三七 一六三―二一〇五

北海道八雲高等学校創立百周年記念事業協賛会

会長 小林 信雄 (十七期卒)

学 校 長 高 橋 一 矢

P T A 会長 阿 部 雄 一 (四十一期卒)

一・創立百周年記念事業

◇記念式典（令和五年十月十五日）

◇記念祝賀会（ ）

◇記念誌発行（ ）

◇記念会報の発行（募金協力者に送付）

◇人材育成プログラム（生徒二名を毎年海外留学十年）

※式典・祝賀会に出席希望の方には改めてご案内いたします。

◇部活動関係器具設備の充実

◇校史資料館の改修

◇校舎前庭の整備

◇校内施設設備の充実支援

◇記念石碑の設置

二・募金目標額（事業予定額） 三千三百万円

三・募金期間 令和四年八月～令和五年九月

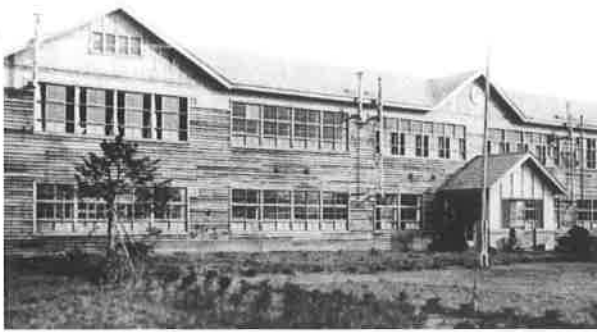
※事業執行の都合上なるべく令和四年十二月までをお願いいたします。

四・募金方法（同封の振込用紙をご利用ください）

一口 五千元 できれば二口以上でお願いします。（二口以上ご寄付の方に記念誌を謹呈します）



旧制校舎



旧東校舎



旧西校舎



現校舎